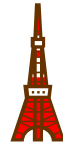


R2.6.29



二つ橋スカイツリーレター No.48



横浜市立二つ橋高等特別支援学校 特別支援教育推進部

この度の緊急事態宣言解除に伴い、6月1日から日常生活のペースを少しずつ取り戻し、いよいよ7月1日からは通常授業がスタート（予定）します。

先日、1年生に「社会人になったら、夏休みは何日くらいだと思いますか？」と尋ねたところ、実際の日数を聞いた生徒は驚きの表情でした。今年は夏休みが短縮され、これまでとは異なる夏休みとなりますが、3年生は最後！！2年生はあと2回、1年生もあと3回だけ。だからこそ、有意義で実り多い夏休みになるよう工夫して過ごしましょう。

さて、今年度も『二つ橋スカイツリーレター』をお届けします。

今年度より、連携支援部の名称が『特別支援教育推進部』に変わりました。名称の変更に伴い、地域支援や福祉関係のさまざまな情報をみなさまにお伝えする“お便り”の発行元が特別支援教育推進部になります。初号から数え、今回で48号を迎え、スカイツリーのように皆さんをいつも見守りながら、さまざまな情報を発信し続けられるお便りにしていきたいと思っています。今回は、3年生の総合で学習をした「グループホームと宿泊型自立訓練施設（旧通勤寮）」について、その内容をお伝えします。

障害者グループホーム（共同生活援助）は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に規定された障害福祉サービスの一つで、障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。また、障害者総合支援法における障害者の入所施設からの地域移行の受け皿として機能しています。

3年『総合』

ダイジェスト版

しょうらい じりつ せいかつ ば
将来の自立した生活の場のひとつとなるグループホームと
しゅくはくがた じり つく んれん し せつ きゅうつうきんりょう がくしゅう
宿泊型自立訓練施設（旧通勤寮）について学習しました。

グループホーム	横浜市内には 649 か所 あります (グループホーム B 型) 「障害福祉のあんない」	毎月払うお金 およそ 70000 円程度 施設によって 金額の違いがあります
宿泊型自立訓練施設 (旧通勤寮)	横浜市内には 1 か所 のみです	毎月払うお金 およそ 40000 円程度

じりつ せいかつ
自立した生活をしたいなあ～

ひとりぐ
1人暮らししたいなあ～

ちよきん
貯金しないとなあ～

はや そうだん じゅんび
早めの相談と準備を!!

しょうがいしゃそうごうしえんほう たいしょう じぎょうしょじょうほう かながわけんない しょうさい しょうがいふくしじょうほう
※障害者総合支援法の対象となる事業所情報（神奈川県内）の詳細は、「障害福祉情報

サービスかながわ」ホームページ、または「障害福祉のあんない」でご覧いただけます。

【ホームページ】 <http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/default.asp>

がつ にち か ねんせい たいしょう けんがくかい よてい
7月28日（火）には、3年生を対象としたグループホーム見学会が予定されています。

けんがくかい ほうじんらんえいがた こんかい ほうじん しゃかいふくしほうじん
この見学会は、法人運営型のグループホーム（今回は NPO 法人と社会福祉法人）のご

きょうりょく じっさい けんがく しょうらい じりつ せいかつ
協力により、実際のグループホームを見学させていただくもので、将来の自立した生活

ば かんが きかい ねんせい きぼうしゃ せいと ほごしゃ たいしょう
の場のひとつとして考える機会とするものです。3年生の希望者（生徒・保護者）が対象

こんご しんろ かんが さい やくだ
になりますので、今後の進路を考える際にぜひお役立てください。